

Les Frères

レ・フレール
サマーコンサート in 天草
斎藤守也 & 斎藤圭土

Summer Concert in Amakusa



Bösendorfer

ピアノの新たな魅力を開拓し続けている
ピアノデュオ「レ・フレール」。
かつてない連弾『キャトルマンスタイル』で
「ピアノ革命」と呼ばれ世界中が熱狂!
1台4手連弾から生まれるその感動を生もの
ステージでお楽しみ下さい。

◆平成 29 年

7月 26日(水)

開場 18:00 開演 18:30

◆天草市民センター (ホール)

◆お問合せ◆

天草市民センター
天草市東町3番地

☎ 0969-22-4125

主催：天草市民センター

◆チケット◆

一般発売 平成 29 年 6 月 1 日(木) 10:00 ~

料 金【税込み】

S 席 2,500 円 高校生以下 1,500 円

自由席 2,000 円 高校生以下 1,000 円

当 日 500 円 UP 3 歳以下ひざ上無料

※座席が必要な場合と4歳以上はチケットが必要です。

チケットお取り扱い

◆天草市民センター

◆牛深総合センター

◆(一社)天草宝島観光協会

◆(株)天草社 ほか、市内の各プレイガイド

レ・フレールの公演では3歳以下のお子様の膝上鑑賞を実施しています。
レ・フレールのコンサートでは「小さな頃から本物の音楽に触れ、心豊かに育って欲しい」との想いから、原則として年齢による入場制限を設けていません。0歳の赤ちゃんでも一緒にコンサートを楽しむことができます。公演中にお連れのお子様が無言無言と立ち出したりする場合には、一度ロビーに出るなど周りのお客様にご配慮ください。親子でマナーを守りながら、コンサートを鑑賞することも子どもたちには知って欲しいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



Les Frères

レ・フレール プロフィール profile

齋藤守也
(さいとうもりや・兄) と
齋藤圭土 (さいとうけいと・弟) の兄弟に
よるピアノデュオ。

兄弟ともに15歳よりルクセンブルク国立音楽学校に留学。ガーリー・ミュラー氏に師事し、クラシックピアノを学ぶ。コンポーザー・ピアニストとしてオリジナル楽曲の制作とライブを両軸に活動。故中村とうよう氏(音楽評論家)に「齋藤守也・圭土の音楽は、いま世間一般に流通するどの音楽ともまったく似ていない。(『芸術新潮』2008年11月号)」と評された独創的な楽曲とピアノプレイスタイル「キャトルマンスタイル」を兄弟二人で確立。2本の手では成し得ない演奏法を4本で探りながらできた、そのプレイスタイルは他に類をみない。

2002年9月3日、出身地である横須賀のライブハウスにおいて「レ・フレール(フランス語で「兄弟」を意味する)」として活動を開始すると、その斬新かつ繊細なプレイスタイル(1台4手連弾)、交響曲や器楽セッションを想起させるオリジナル楽曲、そしてライブパフォーマンスにより瞬く間に日本全国で「ピアノ革命」と話題となる。2006年11月8日にリリースしたメジャーデビュー作『PIANO BREAKER / ピアノ・ブレイカー』(Universal Music) はオリコンウィークリーチャートにおいてピアニストデビュー作歴代最高位を塗り替え、史上初のTOP20入りを果たし、さらにゴールドディスクを獲得。

これまでに、アクセル・ツヴィンゲンベルガー (Pf)、ハンク・ジョーンズ (Pf)、池宮正信 (Pf)、大江千里 (Pf) など共演、海外アーティストとのセッションをはじめ、オリジナル楽曲をベースとしてオーケストラやソロアーティストとの融合を行うなど独自のアプローチで「連弾」を追求している。

楽曲制作・提供では、テレビCM(ハウス食品「ソイチップス」「フルーチェ」・ハウスウェルネスフーズ「C1000 レモンウォーター」・八木木材産業「エピオス・ロングライフ」・YOU テレビ他)、舞台(宝塚歌劇作品『オネーギン』他)、映画(『4分間のピアニスト』2007年ドイツアカデミー賞受賞作品イメージ楽

曲)、テレビ番組(TBS「はなまるマーケット」エンディングテーマ)、JAL・ANAの機内放送に採用されるなど多方面にわたり、各業界からの支持も厚い。

ジャンルを問わず、あらゆる年齢層を惹き付け、聴く人の魂を揺さぶる熱いオリジナルサウンドは着実に評価を高め、フランス・ベルギー・韓国でもメジャーデビュー(Universal Music)を果たし、ヨーロッパ各国・韓国・オーストラリアの主要都市などでツアーを開催。ピアノ一台で世界各国の聴衆を熱狂の渦に巻き込んでいる。

2012年11月21日には結成10周年を記念したライブ盤『Best of ive』(Universal Music)、2013年3月20日に『レ・フレール管弦楽団』(Universal Music)をリリース。これは2012年12月に「ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル(指揮:高原守)」を招聘して行われた共演公演「レ・フレール管弦楽団」のライブ録音で、レ・フレール楽曲の新たな魅力を凝縮した特筆すべき1枚となった。2013年8月21日には齋藤圭土が『音楽家たち』(Universal Music)、同年11月6日には齋藤守也が『旅』(Universal Music)をリリース。これらは彼らそれぞれの楽曲をピアノ連弾以外のアレンジで収録、「コンポーザー・齋藤守也」、「コンポーザー・齋藤圭土」として発信したものである。2014年9月3日にはレ・フレールとして4枚目となるオリジナルアルバム『4-Quatre』(Universal Music)をリリース。天野喜孝氏が描きおろした「キャトルマン」がジャケットを飾った。

2016年1月より新タイトルツアー「Les Frères Anthology」を全国で展開、2016年9月2日にはメジャーデビュー10周年を記念した『レ・フレール THE BEST』(Universal Music)をリリース。

結成時から続けている保育園や幼稚園での演奏活動や、災害復興を機にプロジェクト化した「こどもたちへの音楽支援活動」を全国各地で行うなど、次世代のこどもたちへの芸術文化発展にも大きな力を注ぎ、「レ・フレール」という唯一無二の音楽ジャンルを形成しながら世界に向けて発信し続けている。